

## エネルギー状況報告書

## 1 特定エネルギー供給事業者の概要

## (1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の 氏名)	事業者名	九州電力株式会社
	代表者役職	代表取締役 社長執行役員
	代表者名	西山 勝
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在 地)	福岡県福岡市中央区渡辺通二丁目1番82号	

## (2) 事業の概要

発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無		
都内供給区分	<input checked="" type="checkbox"/> 特別高圧	<input checked="" type="checkbox"/> 高圧	<input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電 事業の概要も記載すること。)	事業者のHPアドレス	<a href="https://www.kyuden.co.jp/">https://www.kyuden.co.jp/</a>	
	◆小売電気事業 ※小売電気事業は2025年4月にグループ会社の九電ネクスト株式会社 へ事業承継  <input type="checkbox"/> 供給地域:福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、宮崎県、鹿児島県 及び九州域外の一部地域  <input type="checkbox"/> 販売電力量:約700億kWh(2024年度)  ◆発電事業  <input type="checkbox"/> 自社発電設備合計:147ヶ所、設備量1,576.4万kW(2024年3月現在) (内訳) ・水力発電:139ヶ所、設備量358.9万kW ・火力発電:6ヶ所、設備量803.5万kW ・原子力発電:2ヶ所、設備量414.0万kW		

## (3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	ビジネスソリューション統括本部 地域共生本部 環境管理・保全グループ	
	連絡先	電話番号	092-726-1531
		電子メールアドレス	
公表の 担当部署	名称	ビジネスソリューション統括本部 地域共生本部 環境管理・保全グループ	
	連絡先	電話番号	092-726-1531
		電子メールアドレス	

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2025年07月31日 ~ 2026年07月31日	
公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:	<a href="https://www.kyuden.co.jp/environment_activity_gwarming.html">https://www.kyuden.co.jp/environment_activity_gwarming.html</a>
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:	
		所在地:	
		閲覧可能時間:	
	<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:	
		入手方法:	
	<input type="checkbox"/> その他		

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量

(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
未調整CO <sub>2</sub> 排出量		15.13
基礎CO <sub>2</sub> 排出量		21.92
調整後CO <sub>2</sub> 排出量		21.92

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況

(単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh)

(単位 %)

項目	前々年度	前年度
未調整排出係数		0.310
基礎排出係数		0.449
調整後排出係数		0.449

把握率
99.97%

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

◆電源の低・脱炭素化 ○ゼロエミッション電源比率を更に高めるなど、CO <sub>2</sub> 排出「実質ゼロ」の電気を安定的に供給
◆電化の推進 ○最大限の電化に挑戦し、需要側のCO <sub>2</sub> 排出削減に貢献
※把握率が100%とならないのは、係数が代替値の事業者からの受電があるため

4 再生可能エネルギーの利用による電気の供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギー利用量及び利用率

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー			非公表	11.18%
(FIT電気)			非公表	非公表

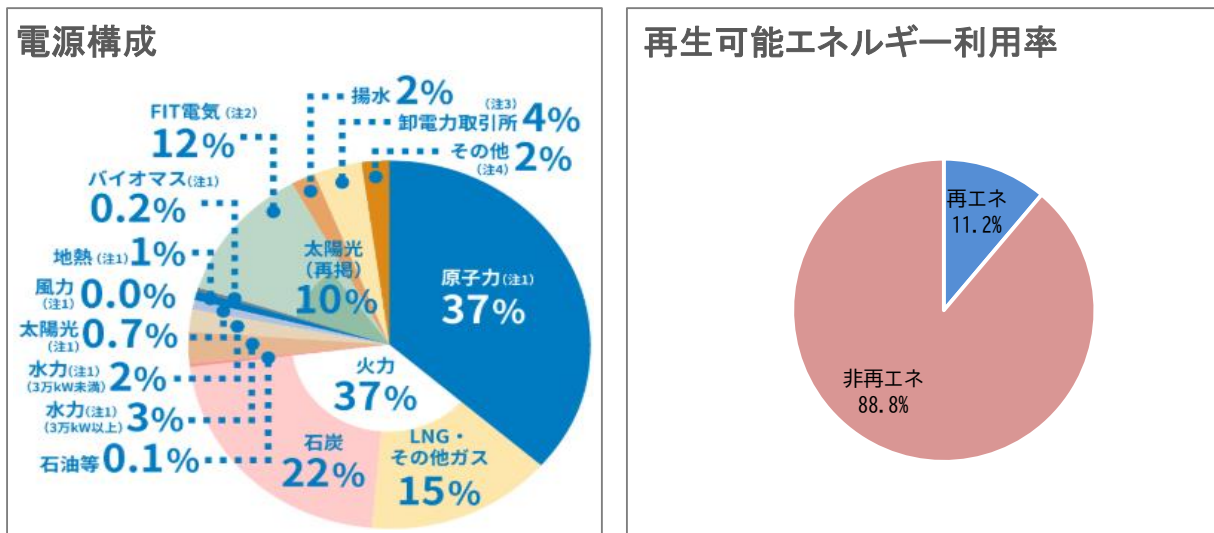
(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

◆再生可能エネルギーは、国産エネルギーであり、地球温暖化対策面でも優れた電源であることから、九州電力グループは再エネ電力販売量を2030年度 330億kWh、2035年度 370億kWh(2024年度実績 約280億kWh)に拡大することを目指しており、九州電力グループの強みである地熱や水力の開発に加え、導入ポテンシャルが大きい洋上風力の開発、そして、遊休地等を活用した中小規模の太陽光開発等に積極的に取り組んでいくとともに、再エネ電気の調達・販売を拡大していきます。 ※特定のお客さまの電力使用量が推測される恐れがあるため非公表 ※上記「再生可能エネルギー利用率」は東京都独自の様式で算定されたものであり、九州電力HPで公表の「当社の非化石証書使用状況」とは考え方が異なります。 <a href="https://customer.kyuden.co.jp/ja/electricity/system/composition.html">https://customer.kyuden.co.jp/ja/electricity/system/composition.html</a>
--

## 第2号様式 その3

### 5 前年度供給した電気における電源構成、新設再生可能エネルギー利用率等及び属性等

#### (1) 電源構成



#### (2) 再エネ証書かつ再エネ電源利用率及び新設再生可能エネルギー利用率

前年度実績値	再エネ証書かつ再エネ電源利用率	11.18%
	新設再生可能エネルギー利用率	0.00%

#### (再生可能エネルギー発電設備の増加に係る措置の取組実績等)

◆再生可能エネルギーは、国産エネルギーであり、地球温暖化対策面でも優れた電源であることから、九州電力グループは再エネ電力販売量を2030年度 330億kWh、2035年度 370億kWh(2024年度実績 約280億kWh)に拡大することを目指しており、九州電力グループの強みである地熱や水力の開発に加え、導入ポテンシャルが大きい洋上風力の開発、そして、遊休地等を活用した中小規模の太陽光開発等に積極的に取り組んでいくとともに、再エネ電気の調達・販売を拡大していきます。

※上記「電源構成」は九州電力HPでの公表割合となります。また、上記「再生可能エネルギー利用率」は東京都独自の様式で算定されたものであり、九州電力HPで公表の「当社の非化石証書使用状況」とは考え方が異なります。

<https://customer.kyuden.co.jp/ja/electricity/system/composition.html>

第2号様式 その3

(3) 供給した電気の属性

発電所番号	発電所の名称	発電所の位置	発電事業者の名称	発電に用いるエネルギーの種別(FIT又はFIPの認定)	バイオマス発電の燃料種	発電規模(kW)	運転開始年月
1	新小倉発電所	福岡県北九州市小倉北区西港町64番地1	九州電力株式会社	火力(LNG)		1,200,000	1978年9月
2	松浦発電所	長崎県松浦郡志佐町白浜免字開発2091番地1	九州電力株式会社	火力(石炭)		1,700,000	1989年6月
3	新大分発電所	大分県大分市大字青崎4番1	九州電力株式会社	火力(LNG)		2,875,000	1991年6月
4	苓北発電所	熊本県天草郡苓北町年柄字苓陽1091番6	九州電力株式会社	火力(石炭)		1,400,000	1995年12月
5	玄海原子力発電所	佐賀県東松浦郡玄海町今村	九州電力株式会社	原子力		2,360,000	1994年3月
6	川内原子力発電所	鹿児島県薩摩川内市久見崎町字片平山	九州電力株式会社	原子力		1,780,000	1984年7月
7	水力発電所(139箇所計)	—	九州電力株式会社	—		3,589,000	—
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							

第2号様式 その4

6 メニューごとの電源構成、新設再生可能エネルギー利用率等及び属性等

(多様な再エネ電力メニューの提供について具体的な措置の考え方)

◆カーボンニュートラルの実現や再エネの有効活用、お客様の再エネニーズの高まり・多様化等の環境変化を踏まえた料金プランを提供。

メニューごとの再生可能エネルギー利用率等

メニュー					前年度実績における都内供給											
ホームページのメニュー紹介URL					電源構成 (FIT又はFIPの認定の有無)		供給した電気の属性									
https://www.kyuden.co.jp/business/menu/menu-select/mainland.html					電源種	利用率	その3(報告書)発電所番号	発電所の名称	発電所の位置	発電事業者の名称						
メニューA	特別高圧	高圧	低圧(電力)	低圧(電灯)	全供給電気の電源構成と同じ	100.00%										
	-	○	-	-												
	商品名等										再エネECOプラン、再エネECO極、再エネECOプラス、CO2削減プラン	-				
	契約時の確約										-					
	基礎排出係数 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)										有	-				
	0.000											-				
	調整後排出係数 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)										有	-				
	0.000											-				
	再生可能エネルギー利用率										無	-				
	100.00%											-				
再エネ証書かつ再エネ電源利用率				無	-											
20.44%					-											
新設再生可能エネルギー利用率				無	-											
0.00%					-											
メニューB	特別高圧	高圧	低圧(電力)	低圧(電灯)		-										
						-										
	商品名等					-										
	契約時の確約					-										
	基礎排出係数 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)					-										
	-					-										
	調整後排出係数 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)					-										
	-					-										
	再生可能エネルギー利用率					-										
	-					-										
再エネ証書かつ再エネ電源利用率					-											
-					-											
新設再生可能エネルギー利用率					-											
-					-											
メニューC	特別高圧	高圧	低圧(電力)	低圧(電灯)		-										
						-										
	商品名等					-										
	契約時の確約					-										
	基礎排出係数 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)					-										
	-					-										
	調整後排出係数 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)					-										
	-					-										
	再生可能エネルギー利用率					-										
	-					-										
再エネ証書かつ再エネ電源利用率					-											
-					-											
新設再生可能エネルギー利用率					-											
-					-											



第2号様式 その4

メニュー H	特別高圧	高圧	低圧 (電力)	低圧 (電灯)						
商品名等										
					契約時の確約					
基礎排出係数 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)										
-										
調整後排出係数 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)										
-										
再生可能エネルギー利用率										
-										
再エネ証書かつ再エネ電源利用率										
-										
新設再生可能エネルギー利用率										
-										
メニュー I										
商品名等										
					契約時の確約					
基礎排出係数 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)										
-										
調整後排出係数 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)										
-										
再生可能エネルギー利用率										
-										
再エネ証書かつ再エネ電源利用率										
-										
新設再生可能エネルギー利用率										
-										
メニュー J										
商品名等										
					契約時の確約					
基礎排出係数 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)										
-										
調整後排出係数 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)										
-										
再生可能エネルギー利用率										
-										
再エネ証書かつ再エネ電源利用率										
-										
新設再生可能エネルギー利用率										
-										
メニュー K					全供給電気の電源構成と同じ	100.00%				
	-	○	○	○						
商品名等	残差メニュー(メニューA以外)									
					契約時の確約					
基礎排出係数 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)					無					
0.472										
調整後排出係数 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)					無					
0.472										
再生可能エネルギー利用率					無					
7.03%										
再エネ証書かつ再エネ電源利用率					無					
7.03%										
新設再生可能エネルギー利用率					無					
0.00%										

## 第2号様式 その5

### 7 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
非公表	非公表	非公表	非公表

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

◆経済性を勘案しつつ、高炉ガスや廃棄物などの未利用エネルギーにより発電した電力の購入に努めます。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

(火力発電所における具体的な地球温暖化対策の取組実績)

◆火力発電所の高効率運用等により、火力総合熱効率の維持・向上に努めます。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化対策の働きかけに係る措置の進捗状況

◆お客さまとのコミュニケーションツールとなる「統合報告書」を発行し当社の環境活動への理解を更に促進していくとともに、ホームページ等にて省エネ事例の紹介や省エネ情報の提供等を行います。

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

◆オフィスにおける使用電力を管理し、使用量の削減に取り組めます。

◆一般車両の燃料消費率(燃費)を管理し、低燃費車の導入やエコドライブの確実な実施などによるCO2排出抑制に取り組めます。

◆国内のみならず、海外においてもIPP事業を展開し、CO2排出抑制に取り組めます。